

三重県医療ソーシャルワーカー協会

実践報告会のご案内

～ソーシャルワーカーとしての成長過程を考える～

平成31年1月吉日

寒冷の候、会員の皆様にはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、報告者の応募等を経て今年度の実践報告会の内容が概ねまとまりましたので、再度ご案内致します。今年度は2部構成とし、午前の実践報告に続き、午後には日本福祉大学の保正友子先生を講師にお招きし、「ソーシャルワーカーとしての成長過程を考える」研修会を企画しました。

保正先生は、ソーシャルワーカーの実践能力変容過程の研究に取り組んでこられた先生です。本研修は、昨年9月30日に開催予定でありましたが、台風にて延期させて頂いておりました。前回は、リーダー向けとして開催予定でありましたが、今回は一般向け研修として同日開催させて頂きます。

午前は様々な実践に触れながら、日々実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「知りたいこと」などを、皆で共有し深め合う場にできればと思います。午後にはそれらも踏まえ、ソーシャルワーカーとしての成長過程を振り返る機会にできればと考えております。

ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。



認定医療社会福祉士研修ポイント対象 <4ポイント> (予定)



【日 時】平成31年 2月 16日(土)

午前の部 9:00受付 9:30～12:00

午後の部 12:30受付 13:00～16:30

【会 場】三重県総合文化センター

生涯学習センター 大研修室

【締 切】平成31年2月12日(火)

【費 用】会員：500円 非会員：1,500円

学生：無料

(当日、受付にてお支払い下さい。※なお、非会員の方でも当日入会頂く場合は会員価格で参加頂けます)

【申込み】別紙申込書にて FAX でお申し込み
ください

【構 成】

午前の部：実践報告 9 演題 (次頁参照)

午後の部：研修「ソーシャルワーカーとしての成長過程を考える」

【研修目標】

- ・ ソーシャルワーカーとしての成長過程を理解する
- ・ 自分自身の成長過程を振り返る機会とする

【講 師】

「ソーシャルワーカーとしての成長過程を考える」

日本福祉大学 社会福祉学部教授
保正 友子先生

【報告者と演題 （演題登録順）】

1 報告 15 分枠（報告 10 分、質疑 5 分）

第 1 部（事例報告）

- ① 松阪市民病院 落合 伸也
『経済的理由により入院前の居住場所に退院ができなくなった患者への関わりについて』
- ② 市立四日市病院 加藤 かすみ
『支援者がいない白内障患者の手術や療養支援について』
- ③ 榊原温泉病院 木村 友美
『先を見通すことが苦手な患者様の退院支援～本人の権利擁護を考える～』
- ④ 鈴鹿中央総合病院 阿部 由紀子
『整形外科病棟の入退院支援職員として考えたこと～認知症患者の退院援助から振り返る～』
- ⑤ みえ川村老健 馬場 皓平
『精神疾患と身体障害のある若年利用者の自立に向けた支援』

第 2 部（取り組み、業務改善等）

- ⑥ 三重大学医学部附属病院 濱岡 和弥（共同演者：小坂 絵里加、高野 稚菜）
『当院における新人教育～業務評価シート作成に向けての取り組み～（中間報告）』
- ⑦ 鈴鹿回生病院 久保 信裕（共同演者：富山 恵資）
『新人 MSW の成長過程とサポートについて』
- ⑧ 岡波総合病院 高野 舞
『入退院支援に関する加算を漏れなく算定する取り組みについて（仮）』
- ⑨ 社会福祉法人三重県厚生事業団三重県身体障害者総合福祉センター 森 由美
『医療機関と福祉機関の連携による高次脳機能障害者の就労支援
～それぞれの役割と機能、視点の違いから考える～ 』

平成 30 年度三重県医療ソーシャルワーカー協会 実践報告会

～ソーシャルワーカーとしての成長過程を考える～

〆切:2 月 12 日(火)

送付先 小山田記念温泉病院 FAX 059-337-9512

参加者氏名	会員資格	備考
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
	会員 ・ 非会員	
所属機関	連絡先電話番号	

※同一所属機関の方は、まとめてご記入いただきお申し込み下さい。

省資源のため本紙のみで送信してください